

第2号様式（第3関係）

平成30年度第2回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成31年3月22日（金）午後2時から午後3時30分
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員
（役職及び氏名） 会長：飯田義秀
委員：安藤幸子、尾野よし子、加藤 武、浅井恵子、渡邊みゆき
服部恒子、柴田昌治、坪井敏行、武田州美子
事務局：北川昌宏教育長、安藤憲司事務局長、安藤 彬主事、
高木杏菜主事
欠席：前田 治
- 4 議題 (1) 生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画の新たな策定について
(2) 平成31年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について
(3) 平成30年度生涯学習学級講座受講状況について
- 5 会議資料 ・生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画の新たな策定について
～資料No.1～
・平成31年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について
～資料No.2～
・平成30年度生涯学習学級講座受講状況について
～資料No.3～
・平成31年度生涯学習学級講座予定一覧について
- 6 議事内容
(司 会) 本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。それでは、定刻になりましたので、ただ今より、平成31年度第2回豊山町生涯学習推進審議会を開催いたします。なお本日欠席の委員の内、前田委員からは事前にご連絡をいただいております。
(司 会) はじめに、審議会の会長であります飯田会長よりごあいさつをいただきます。
(会 長) 会長を仰せつかっております豊山中学校の飯田です。この会が実り多きものとなりますよう、委員の皆様方にはご協力をお願いします。

- (司 会) 続いて豊山町教育委員会北川教育長より、ごあいさつを申し上げます。
- (教育長) 改めてお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。皆様のおかげを待ちまして今年度も生涯学習事業も滞りなく実施することが出来ました。お礼を申し上げます。現在豊山町では町全体の第五次総合計画の策定を進めておりまして、新しい町づくりということで、職員一同知恵を絞っているところであります。生涯学習の分野におきましても生涯学習町づくり基本計画の新たなものを策定していく予定をしております。審議会の委員の皆様にもその際にはいろいろなアイディア、お知恵等をお借りしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。本日でございますけれども、新年度の生涯学習に関する事業計画、今年度の生涯学習講座の報告などがございます。皆様には忌憚のないご意見をいただきながら、有意義な審議会になればと思います。本日はよろしくようお願いいたします。
- (司 会) 次に審議会の議事録はHPに掲載させていただきます。議事録は発言者名を伏せ、要点筆記で作成したものに なります。会長と委員一名の署名をいただきます。後ほど会長から署名委員の指名されますので、会長と委員で誤りがないか確認していただきます。これより議事へ移らせていただきます。本日の会議は委員11名中10名の出席をいただいております、過半数を超えておりますので、豊山町生涯学習審議会条例第7条第2項に基づき会議は成立しております。議長につきましては同条例第7条1項規程に基づき会長にお願いします。それではよろしくようお願いいたします。
- (会 長) それではしばらくの間議長を務めさせていただきます。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。議事録指名委員につきましては柴田委員にお願いします。
- (会 長) 議題1生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画の新たな策定について事務局から説明をお願いします。
- (事務局) 議題1生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画の新たな策定について、資料No1に基づき説明
- (会 長) ただいま説明がありました議題1につきまして、何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。
- (教育長) 少し補足させていただきます。今の基本構想・基本計画は10年前に作られました。この10年間のうちに高齢化が進んだとか、防災意識の高揚があったとか、航空ミュージアムが出来たり、MRJの組み立て工場が出来たりと町の様子も変わってきました。今度の計画も5年にするのか10年にするのか検討している段階ですが、先を見据えて住民の人にとどれくらいニーズに応じた生涯学習が提供できるのか。そういったことが来年度策定する計画の趣旨になろうかと考えております。ゆりかごから墓場まで住民の皆さんがいつでもどこでも気軽に学べるような生涯学習計画にしていけたらいいなと考えております。皆様からのご意見などをいただければありがたいと思っております。
- (委 員) 過去のことがわからないのでお尋ねします。資料No1の中段にあります生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画図というものがありますが、これは生涯学習推進審議会の過去の委員が何らかの意見を出されて、役場の担当で検討されて出来上がったものなのか、担当部で現状を踏まえて考えられたものなのかお尋ねしたい。理由として、会議

は今年度2回目ですが、拍手をして承認するだけのイメージが強かったです。この30年度そのものについても、全部見聞きしているわけではないので、意見を求められても言えない部分が結構あると思います。現状を踏まえて将来に備えて見据えてやっていくというときに、現状が今どうであるかということは役場の方は確認されるとおもいます。この審議会があるということで委員の総意がどこかに少しでも入っているのでしょうか。2回の審議会では反映するのは難しいのではと思うのですが。せっかく考えていくときに題目があって皆さんの中でかかわりのある部分があると思います。そういったところで、こうやったらどうか、この提案はみなおしてはどうか、といったことを言う場の一つでもあると思いますが、過去のことは分からないので、どういうところからこの文言が出てきて、どなたが考えられて議題2のような具体的なものが出てくるのか、少し聞かせていただきたいと思います。

(教育長) 私から説明させていただきます。この生涯学習推進審議会は生涯学習行政の中でも重要度の高い審議会となります。本来、審議会そのものは本町の基本構想、基本計画を定めることが大きな仕事の1つとなります。委員からご指摘がございましたが、私は、拍手をして承認するだけというような会議が、本来の会議ではないと考えております。ここで、忌憚のない意見をいただいて、お互いに審議しあって、あるべき姿を探るのが審議会だと思っております。過去のものを見ますと、事業報告や事業計画を担当者が説明し、それについて委員が了解をする。その中で、委員の中から「こういった講座があったらどうか」などの意見や「この講座の参加者が少ないのはなぜだったか」の質問がありました。今までの会議はその段階までで終わってしまうものが多く、これは本来の生涯学習推進審議会のあるべき姿ではないと私は考えております。ですので、この場において、講座の開講に関する活発な意見を出していただくことが正しい会議の形であります。そして、今回の基本構想、基本計画についても、段階としては、審議会の委員が一人から執筆するものではなくて、私ども生涯学習係の担当者が執筆いたします。それは、今までの行政データを見たり、今までの審議会の会議録を見たり、あるいは統計データを見たりして、受講者のニーズを把握し、たたき台を作成します。こちらを生涯学習審議会に挙げて、皆様の意見を反映させ、修正を行う。その過程で基本構想、基本計画を作成するというのが、本来のあるべき姿であると考えます。今回の審議会におかれましても、この形にしていきたいと考えております。

次に、年に2回でこの審議会を開くことになりましたのは、本来であれば第2回を12月ごろに開催する予定でしたが、審議会に挙げる内容が事業報告のみであったため、年末のお忙しいときに、日程の調整も不備な中で皆様にご出席いただくのは申し訳ないと思い、皆様からお時間をいただいて、今回の審議会にて実質的な審議をすることができる会議を開催するため、今回は2回目としました。したがって、この基本構想、基本計画において、たたき台ができあがりましたら、今年の8月や9月に会議を開き、皆様に審議していただくことも考えております。そのために、この基本構想、基本計画が審議するに値する段階までできあがっていなければならないと考えております。来年度につきましては、夏ごろに一度会議を開くことがあるかもしれません。

そのときには、皆様のご意見をいただきながら、本来あるべき基本構想、基本計画を作成していきたいと考えております。

(会 長) 来年度は基本構想、基本計画の関係で、会議の頻度が多くなるかもしれないということですね。

(教育長) 皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが、何卒よろしく願いいたします。なるべく早い時期に日程調整をさせていただきます。また、資料に書きました基本目標につきましても、あくまでこの方向性でという形で記載させていただきました。この基本目標についても、もっとたくさんあるのではないかと、この内容も含めた方がよいのではないかなど、意見をいただいて、再度たたき台を提案させていただきたいと考えております。

(会 長) 先ほど説明がございましたが、第5次総合計画が作成されると同時に、基本構想、基本計画が作成されるということで、こちらも10年ごとに更新をしていくということでしょうか。

(教育長) 第5次総合計画については総務部が中心となって計画を進めております。おっしゃったように10年ごとに作成となります。その計画を前期、後期に分けるかはまだ審議段階であります。

(会 長) ありがとうございます。委員の皆様もよろしいでしょうか。

(委 員) はい。ありがとうございました。

(会 長) それでは、他に意見がある委員はいらっしゃいますでしょうか。

(教育長) 少し補足させていただいてもよろしいでしょうか。

(会 長) よろしく願いします。

(教育長) 講座の事業報告や事業計画を皆様にご提示しておりますが、その中で参加者のニーズを把握し、講座の企画を行ってまいりますので、皆様からはご意見をいただけると大変うれしく思います。

(会 長) 他に意見がありますでしょうか。来年度が節目の年となりますので、来年度も継続して審議会にご出席いただく委員が多いかと思っております。来年度も充実した会議となるよう、皆様からご意見をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、ご意見がないようですので、議題1についてはよろしいでしょうか。

次の議題2平成31年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局) 議題2平成31年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について、資料No2に基づき説明

(会 長) ただいま説明のございました内容について、ご意見、ご質問はありますか。

(委 員) 実施事業、今後の予定事業について、資料に同じ名前の講座がいくつかございますが、こちらは同じ内容のもので、対象がいくつかに分かれているということでしょうか。

(事務局) この資料では年齢ごとに事業を記載させていただいております。したがって、複数の年代に対して募集を行っている事業については、同じ名称を列挙しております。

(委 員) ありがとうございました。

(会 長) 他に意見はございますでしょうか。

(委 員) 事業の検討のときに、今巷で話題になっている、塾に行けない子どもたちに対する学習支援をするというのは可能でしょうか。また、候補に挙げることはできるのでしょうか。審議の段階で意見があがったのか、もしくは生涯学習にあたらなものなのか、教えていただきたいです。

(事務局) 今回の講座案については、学習支援を目的とした講座はございません。新規講座については、町民を対象としたアンケートを参考に、考えさせていただいております。現時点で学習支援を目的とした意見はございませんでしたので、講座の開設に至りませんでした。

(教育長) 補足させていただきますと、学習支援については、学校教育の方でもあがっております。現に国や県の施策として、学習支援を取り入れたらどうかという意見もございます。生涯学習として学習支援を行うことを仮に想定したとき、その支援を行う場所であったり、参加者をどうやって募集するのかなど、様々な課題がございます。例えば、所得制限を設けて募集するという形も、いかがなものかと感じます。また、開催場所も配慮する必要があるかもしれません。それから、主催者はどこなのか、生涯学習で扱うのか、難しいところがございます。

(委 員) 生涯学習の中で、指導者を町内の方にやっていただくこともありますよね。難しいと思いますが、県で指導者を育成する研修会などを開いているかと思いますが、そこに応募して講座をもっている方はいらっしゃるでしょうか。また、豊山町の中で学習支援に該当する子どもが大勢いるとは考えにくい部分もありますので、大きな問題ではないかと感じます。ただ、世間で話題になっておりますので、どこかで反映させていければ良いかと思えます。生涯学習の範囲でも実施できると良いのではないかと思います。

(教育長) 豊山町の特徴になるかと思いますが、予備校や学習塾が比較的少ないのではないかと感じております。もし、要望があるのであれば、その業者に講師を派遣するなども考えられます。ただ、学習支援に対する制度設計が難しいと感じます。

(委 員) 名古屋市のある区の民生委員をやっている人から、学習支援に対する呼びかけなどがあり、中学生の英語や数学などの一般科目を見ているという話を聞きました。指導するのは大変ですが、子どもたちが楽しんでやっており、成果も上がっているそうです。

豊山町でも、様々な理由で塾へ行けないなどの子どもたちに対し、実施することは、これからの豊山町にとって良いことではないかと思えます。先日、議会での議員の意見に対する町の回答の中に、オーストラリアの研修の話がありました。研修に参加された方が豊山町のまちづくりに必ず役立ってくれるだろうと考えております。世間で話題になっているからというだけでやるのもいかがなものかと思えますが、何らかの形で考えていかなければならないと思えます。

(教育長) 今の話に対しては町としましても検討していきます。そういった意見を施策に反映させていくのか、真剣に考えていく必要があります。貴重なご意見をありがとうございます。

(委員) 新しい事業の中に、「いきいきチャレンジ講座」があり、対象が一般となっております。豊山町には高齢者の体力づくりなど充実している印象がありますが、こちらの内容について教えていただけませんか。

(事務局) こちらの講座については、全3回の講座となっております。先ほどお話したアンケートの中でも、健康に関する講座の開設の要望が多かったため、健康をテーマにこの講座の開講に至りました。内容については、料理と運動と心のリフレッシュの3つの分野に分けた講座となっております。運動の中でも、楽しく体を動かすの他に、体づくりなどの内容も入れております。

(委員) 毎年開催される講座は個人的にすごく楽しみにしております。この講座の講師とつながり、所属する団体で同じ内容を実施したところ、こちらは大盛況な会となりました。ですので、今後も旬の講座を提供していただきたいと思っております。

また、出前講座についても、もう少し工夫していただけたらと考えております。できれば予算のないところで実施したいと考えております。個人的にはマンネリ化しているのではないかと感じておりますが、ワークショップを開くなど、楽しく受講できるような形へと変わっていけばよいかと思います。

(会長) 貴重なご意見をありがとうございました。他にご意見はございますか。

(委員) 教えていただきたいのですが、文化協会、体育協会あるいはそれに対応する団体、組織があるかと思いますが、その団体、組織と町とはどのような関係にあるのでしょうか。例えば、文化協会主催の文化展があります。そのときに生涯学習課や町から、今年はこの方針で行ってくださいという要望を出しているのでしょうか。あるいは文化協会が独自の方針で進めているのか。両者の関係を教えて下さい。

(教育長) 豊山町の大きな特色かと思いますが、文化協会、体育協会の方々の存在が大きいという印象を持っております。通常ですと、町の教育委員会が任意の団体で文化協会、体育協会があって、町の教育委員会から行事を委託する。団体が主催で行い、町は委託料をお支払いするというような形で進んでいくと考えておりましたが、豊山町を見てみますと、文化協会、体育協会が主催する行事と町が開催行事というのが対等な立場で実施しており、町民から見ると、教育委員会主催なのか、各団体が主催なのかが分からないくらい、良い意味で住民の皆様が盛り上げていると感じます。それだけ、町が成熟しているかと思いますが、こちらの資料であげている事業については、町の教育委員会が行っているものとなります。ただ、実行力のある団体におかれましては、大いにご活躍いただくとともに、町からは補助金や委託料をお渡しするなどの対応をして、団体主催で開催していただいているという形です。地域と住民の方と町の教育委員会が一丸になって生涯学習を展開していくことが大切だと考えております。

(委員) この資料であげられております講座についても、文化協会や体育協会に委託することで、将来的に生涯学習が推進されるのではないかと思います。

(教育長) 手段、方法はいくつかあるかと思いますが。町の職員も限られておりますので、この審議会の場で審議していただき、方向性を定めることができれば、団体と協力して講座を実施することができるかと考えております。

- (会 長) 他にご意見はございますか。
- (委 員) 今年もそうですが、スキーの教室をやっていますか。
- (事務局) スキー教室はだいぶ前に開講していた講座となります。
- (委 員) 広報を見ておりますと、中学生がスキーを楽しんだという記事が載っておりました。一般向けのスキー講座はなぜなくなったのでしょうか。
- (事務局) おそらく20年くらい前に開講しております。今、手元に資料がありませんので、詳しい説明はできません。
- (委 員) そんなに前の講座なんですね。私の記憶が正しければ、スケートから始まり、スキーに変わって、どこかでなくなったかと思います。
- (事務局) おそらく、ここから参加者全員バスに乗って、会場に行き、受講していたかと思います。
- (委 員) 私も覚えております。人気が高く、すぐに定員に達した記憶がございます。スポーツ振興の種目もいくつかありますが、スキー、スノーボー、登山など、遠方に行くような講座があると面白いのではないかと思います。町内では、体育協会内にスキーや登山をやっているクラブがあると思いますが、スポーツの振興をもう少し進めていくことができると、面白いのではないかと思います。
- (教育長) 本町にはスポーツ推進委員が6名いらっしゃいます。大変熱心に活動しており、2月に蒲郡にて東海四県の大会がありまして、ニュースポーツやレクリエーションスポーツを企画し、実施しているなど、1500人集まった会場で発表しております。たった6人という点に会場がどよめきましたが、住民のニーズを拾いながら、講座を実施しているのかと思います。スキー教室などの開講は、個人で負担していただく等、開講にあたっては実現が難しいかもしれません。
- (事務局) 講座がなくなるには、何かしら理由がございます。例えば釣り講座がなくなった理由の中に、池に落ちたからという意見があったそうです。最近の傾向としましては、参加者の危険の伴う講座はなかなか企画をしづらいという点が現状としてあるのかと考えます。
- (委 員) たしかに、ケガや事故の恐れがある講座については難しそうですね。ただ、住民のニーズにあわせた講座の企画にて、候補にあげないのはもったいないと感じます。昔だと学校の修学旅行として、スキー研修があったんですが、最近だとかなり減ってきたと聞いております。学校側が内容を変えたり、行事を入れる等をして対応しているのかと思います。世間一般でもスキーをやる人口も減ってきているそうです。ただ、ここから2時程度でスキー場はあるわけですから、うまく利用することも良いのではないかと思います。ケガや事故を防ぐため、万全な状態をとって、日帰りで実施するなど、どこかで開講できないかと思います。
- (教育長) ケガや事故の責任を町の職員が取らなければならないから、講座を企画しないという考えは、この教育委員会では無いと考えております。あくまでも、住民のニーズがあれば、検討する必要があると思いますし、危険性があればそれを除去する方法を考えなければならないと思います。現に、豊山中学校ではスキー研修を行っております。そのこ

ともふまえまして、安心、安全を考慮した施策が必要だと思っておりますので、ニーズがあれば開講を検討していきたいと考えております。こういった意見を基に、新しく講座を開講する、ニーズに沿わない講座は廃止するなど、審議していくことが大切かと思っております。

(会 長) 他にご意見はございますか。

事業完了予定年度という記載がございますが、これはどういう意味で設定されているのでしょうか。

(事務局) 1点目の記載がある講座については、今年度で廃止となりましたので、完了予定年度に記載がございます。もう1点の読書推進計画につきましては、現計画の完了年度が2020年度となりますので、記載しております。

(会 長) 記載のある年に事業も終わるとのことですね。分かりました。他に意見はございますか。

(委 員) 私の知り合いから聞いた話ですが、春日井市にお住まいの外国人の方がおります。何年も日本に住んでおり、日本語も流暢に話されるそうです。ただ、会話をしている、まだまだ分からない事もあるようで、ボランティアで大学の先生に日本語を教えていただいているそうです。どれくらいの頻度で開催しているか分かりませんが、その外国人の方はすごくありがたいとおっしゃっておりました。外国人の日本語教育を目的とした事業はないのでしょうか。

(事務局) 過去に開講したことはないですが、日本語を教えてほしいという問い合わせは過去に何件かあったそうです。

(教育長) 豊山町でもフィリピン人、ベトナム人が増えていると聞いております。その方達と一緒に住んでいくことも考えると、考えなければならぬと思っております。ただ、その方達はなかなか声を上げることができないため、行政がその声を拾っていかねばならないと考えております。

(委 員) 町内には国際交流の会があり、2、3人在籍しております。その方に、日本語をボランティアで教えているそうです。

(教育長) 町内で生活していることを考えると、防災に関する事など、知っていただかないと大変な事もありますね。

(委 員) 今はボランティアで行っておりますが、町で実施して対応していただきたいと思っております。時間はだいたい1時間くらいですか。

(委 員) 人によりますが、2時間受けられる方もいますし、進んで学びにくる方もいます。始まる前に、個別に教えるなど、対応しております。

(教育長) 10年先を見据えた生涯学習講座を考えますと、多文化共生を目的とした講座が必要になってくるのかもしれませんが。

(委 員) 例えば、翻訳機などを町の施設に設置するなど、多文化共生を進めるための計画はありますか。

(教育長) 今年の夏から外国人の方を町で採用し、パンフレットや町の案内を国際化する取組みから始まっていくと思っております。国際交流の会の存在も知っておりまして、既存の組織も活用して、多文化共生を進めていくことが必要であると考えております。

- (委員) 職員の中に、外国語を話せる方がいるのなら、ネームプレートに記載するなどすると、柔軟な対応ができるのではないのでしょうか。多文化共生は準備も含めて長く、時間のかかることだと思いますので、早い段階から時間をかけて進めたほうがよいと思います。
- (教育長) 英語を話すことのできる職員は、この役場に何人かいると聞いております。
- (委員) 多言語を話す事ができる職員がいるのであれば、積極的に手をあげていただきたいですね。
- (教育長) 一度調べてみます。
- (会長) たくさんのご意見ありがとうございます。他に意見はございますか。
無いようでしたら、議題2については承認いただいたということによろしいですか。
それでは最後に、議題3 平成30年度生涯学習学級講座受講状況について、事務局から説明をお願いいたします。
- (事務局) 議題3 平成30年度生涯学習学級講座受講状況について、資料No.3に基づき説明
- (会長) 平成30年度の説明のところで、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。
定員に達した講座については、申込者の中から抽選で選んでいるのでしょうか。
- (事務局) こちらについては、先着順で受講者が決まっております。間に合わなかった場合は、キャンセル待ちという形で申込みいただいております。平成30年度については、講座のキャンセルなどはございませんでした。
- (会長) 分かりました。ありがとうございます。
- (委員) 前期の中部大学親子講座について、どういった内容なのか教えていただけますか。
- (事務局) こちらは中部大学の先生が講師となって、平成30年度は理科の科学実験を開催しました。内容については、保冷剤をテーマに、保冷剤の仕組みを学び、親子でアイスクリームを作る体験を行いました。会場は中部大学で行うため、参加者はバスで移動し、受講しました。
- (会長) 他にご意見はございますでしょうか。
それでは、議題3については承認いただいたということによろしいでしょうか。
予定された議題ですが、すべて終了いたしました。たくさんのご貴重ご意見を出していただき、誠にありがとうございました。
- (司会) 議事の進行ありがとうございました。
それでは、次にその他に入ります。
委員の皆様から何かございますでしょうか。
- (委員) 4月から生涯学習講座の申込みが始まると思いますが、申込みがスムーズにできるようになっていただけたらと思っております。受付開始が9時からですが、皆様8時ごろに並んで待っております。複数の講座を申込みされる方は、整理券1枚に対し、1講座しか申込みできませんので、また並び直す形となるので、非常に時間がかかります。その点をスムーズにできると良いのですが、どうでしょうか。
- (事務局) この点ですが、整理券1枚に対し1講座の申込みとなる理由については、まず、多くの町民の方に講座を受講していただきたいという思いがございます。また、公平に、広く知っていただきたいという点もございます。1度に複数の講座を受講される方もいら

っしやいますが、一度に複数の受付をしますと、他の方が受講できない状況が発生し、希望者が講座を受講する機会が少なくなってしまう恐れがございます。ですので、現在はこのような方法で実施しております。ただ、受付方法については考え直さなければならぬことがありますので、改善していきたいと考えております。なるべく時間のかからないように申込みができるように対応していきたいと思っております。

(委員) 来年度の講座一覧をまとめた冊子やホームページなどに情報をのせているかと思いますが、講座の場所が違うなどの話を聞きました。

(事務局) よく確認するようにいたします。他にございませんでしょうか。

(司会) 委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございます。これもちまして、第2回生涯学習推進審議会を閉会といたします。

上記のとおり平成30年度第2回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成31年4月9日

会長 飯田義秀

署名人 柴田昌治